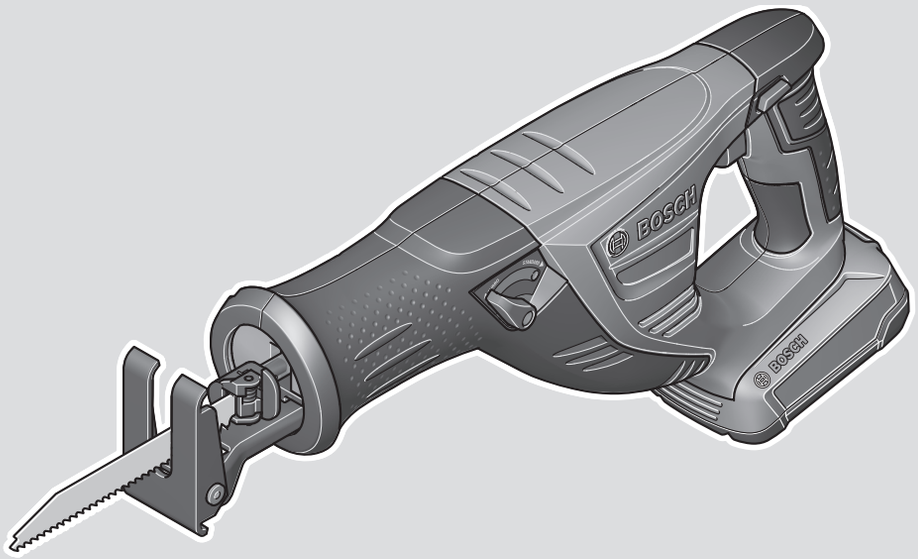


**ボッシュ株式会社**　電動工具事業部
ホームページ：http://www.bosch.co.jp
〒150-8360　東京都渋谷区渋谷 3-6-7
コールセンターフリーダイヤル
**0120-345-762**
（土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 6：00）
＊ 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。

1 609 92A 2SF
1 609 92A 2SF (2016.06)

# バッテリーのこぎり
# PSA 18LI

BOSCH

## 取扱説明書

このたびは、弊社バッテリーのこぎりをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

# 目　次


## ●安全上のご注意

警告表示の区分 …… 2
バッテリー工具全般についての注意事項 …… 2
バッテリーのこぎりについての注意事項 …… 9

## ●リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください …… 11

## ●本製品について

用　途 …… 12
各部の名称 …… 12
仕　様 …… 13
標準付属品 …… 14

## ●使い方

バッテリーを準備する …… 15
作業前の準備をする …… 18
作業する …… 21
ポケット切断をする …… 25

## ●困ったときは

故障かな？と思ったら …… 27
修理を依頼するときは …… 28

## ●お手入れと保管

クリーニング …… 29
セーバーソーブレードのお手入れ …… 29
保　管 …… 30

# 安全上のご注意



◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

## 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は ⚠危険 、⚠警告 、⚠注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

**⚠危険** ◆ **誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。**

**⚠警告** ◆ **誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

**⚠注意** ◆ **誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## バッテリー工具全般についての注意事項

ここでは、バッテリー工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたバッテリーのこぎりには、当てはまらない項目も含まれています。

## ⚠ 危 険



1. **専用のバッテリー以外を使用しないでください。**
   - ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
   - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

   工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

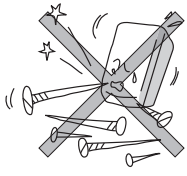
2. **バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。**



3. **バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。**

4. **バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。**

5. **バッテリーの端子間を短絡させないでください。**
   - ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. **バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。**

   発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. **専用の充電器以外では、充電しないでください。**
   - ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

   バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

## ⚠ 警 告

### 1. 正しく充電してください。

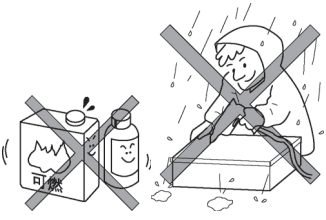
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が 0℃未満、または温度が 45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

### 2. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

### 3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ バッテリー工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。




### 4. 保護めがねを使用してください。

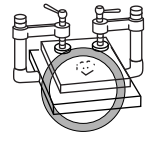
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

### 5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

### 6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でバッテリー工具を使用できます。



7. 次の場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。




◆ 使用しない、または修理する場合。
◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
◆ その他危険が予想される場合。

8. 不意な始動は避けてください。

◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

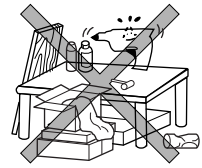
11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

## ⚠ 注 意

### 1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



### 2. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業者以外、バッテリー工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

### 3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ バッテリー工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

### 4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、バッテリー工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

### 5. 作業に合ったバッテリー工具を使用してください。

- ◆ 小型のバッテリー工具やアタッチメントは、大型のバッテリー工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

### 6. きちんとした服装で作業してください。

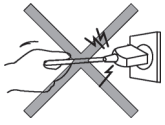


- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

### 7. バッテリー工具は、注意深く手入れをしてください。

◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

### 8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。



◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

### 9. 無理な姿勢で作業をしないでください。



◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

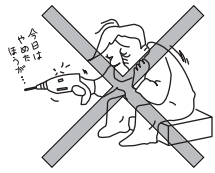
### 10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

### 11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

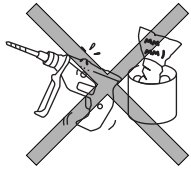
◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

## 12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。



- ◆ バッテリー工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

## 13. 損傷した部品がないか点検してください。



- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
  取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないバッテリー工具は、使用しないでください。

## 14. バッテリー工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の人はバッテリー工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ バッテリー工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

**この取扱説明書は、大切に保管してください。**

## バッテリーのこぎりについての注意事項

バッテリー工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、バッテリーのこぎりをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



### ⚠ 警 告

1. **使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。**
   ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。

2. **作業する個所に、電線管や水道管、ガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
   ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。

3. **使用中に振り回されないよう、のこぎり本体を確実に保持し作業してください。**
   ◆ 確実に保持していないと、けがの原因になります。

4. **使用中は、先端工具や切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。**
   ◆ けがの原因になります。

5. **フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、本体が冷めるための時間を設けてください。**
   ◆ 複数個連続使用しますと、機体に支障をきたすばかりでなく機体の温度が上昇し、低温やけどをする恐れがあります。

6. **使用中に本体の調子が悪くなったり、異常音がしたときは、直ちに「メインスイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検、修理を依頼してください。**
   ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

7. 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、先端工具や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
   ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

8. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。
   ◆ 故障の原因になります。

## ⚠ 注 意

1. 先端工具や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
   ◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。

2. 作業直後の先端工具や切り粉などは、高温になっていますので触れないでください。
   ◆ やけどの原因になります。

3. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
   ◆ 材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。

4. 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
   ◆ 事故の原因になります。

5. ブレード（のこ刃）の交換は、手袋やウエスなどで手を保護してから行ってください。
   ◆ 手を保護しないとけがの原因になります。

6. ブレード（のこ刃）は、不用意に触れると危険です。作業時以外でも十分注意してください。
   ◆ 不用意に触れると、けがの原因になります。

7. 先端工具や先端工具取り付け部の切り粉などを、拭き取ってください。
   ◆ 先端工具が外れたりして、けがの原因になります。

# リサイクルのために

## 使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人ＪＢＲＣに加盟し、使用済みバッテリー工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。
恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはＪＢＲＣリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。

【http：//www. jbrc. com】

Li-ion

この電動工具は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。
ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出しください。

# 本製品について

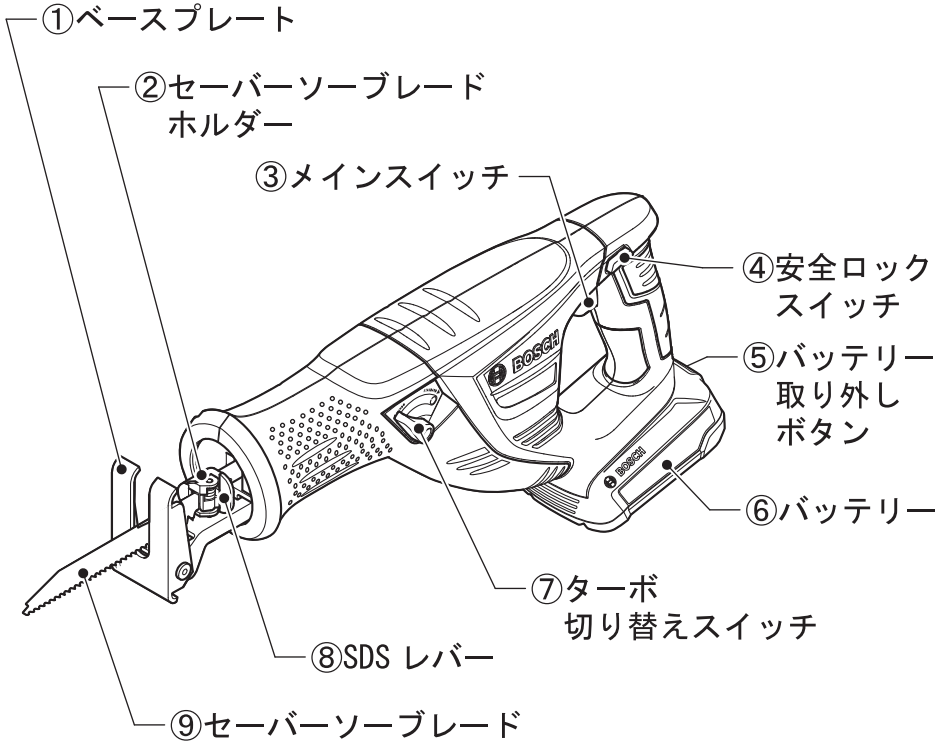
## 用　途

◆ 金属パイプ、アングルの切断
◆ 木材、生木、パーチクルボード、釘の入った木材などの切断
◆ 軟鋼板、アルミ板などの切断
◆ プラスチック、グラスファイバー、ALC などの切断

※ 本製品は、ご家庭での使用を想定した「ＤＩＹ用」製品です。業務（建築作業・電気工事等）で頻繁に使用される場合は、当社「プロ用」製品のご使用をお薦めします。



## 各部の名称



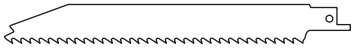

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

## 仕　様

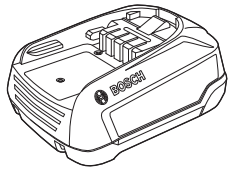
**本　体**

| | |
|---|---|
| 品　番 | PSA 18LIN<br>PSA 18LIH（本体のみ） |
| 定格電圧 | DC 18 V |
| ストローク数 | 0～2800 $min^{-1}$（回/分） |
| ストローク幅 | 22mm |
| 最大切断能力 | |
| 　木　材 | 100mm |
| 　軟鋼材 | 20mm |
| 　アルミニウム | 20mm |
| 質　量 | 2.3 kg |

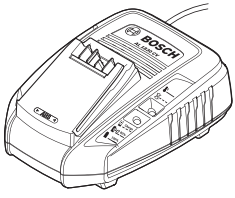
## 標準付属品



セーバーソーブレード



リチウムイオンバッテリー
18V 2.5Ah
(PSA18LIN のみ)



専用充電器
(PSA18LIN のみ)

☞ 上記以外に弊社 18V(1.3Ah)、18V(1.5Ah)リチウムイオンバッテリーもご使用いただけます。

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

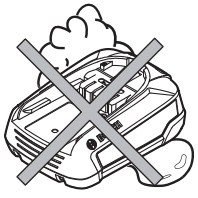
# 使い方

⚠警告 ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑤」が安全ロックの位置になっていることを確認してください。

## バッテリー⑥を準備する

### バッテリー⑥を点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか?
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか?



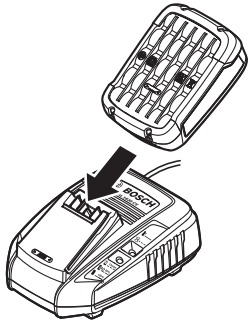
### バッテリー⑥を充電する

充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

⚠警告 ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー⑥を充電してください。
◆ バッテリー⑥が熱くなっているときは、冷めてから充電してください。
◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。
◆ 電源に 100V が確実に供給されていることを確認してください。特に、延長ケーブルを使用するときは、必ず事前に確認してください。
◆ バッテリー挿入口に異物が入らないよう注意してください。ショートの原因になります。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込み、表示ランプ（緑）の点灯を確認します。

2. 充電するバッテリー⑥を充電器のバッテリー挿入口に差し込みます。




3. 充電が完了したら、バッテリー⑥をバッテリー挿入口から抜き取ります。

4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。

☞ 仕様に記載されている充電時間は最適条件での充電時間です。
室温、バッテリー⑥の温度や状態、電源電圧等の要因により多少長くかかることがあります。

☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリー⑥の寿命が尽きたと考えられます。新しいバッテリー⑥と交換してください。

☞ バッテリー⑥は出荷時に多少充電されていますが、初めて使用される場合は、充電器でバッテリー⑥をフル充電し、完全に充電されたことを確認してください。

☞ リチウムイオンバッテリーはその寿命を縮めることはなく、いつでも充電が可能です。充電を途中でやめてもバッテリー⑥を傷めることはありません。

☞ 本機には、電子セル保護システム（ＥＣＰ機能）がついております。
本体が過負荷になった場合や、バッテリー⑥が過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

## バッテリー⑥を取り付ける・取り外す

**⚠警告** ◆ **不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「安全ロックスイッチ④」が“安全ロック（中央）”の位置になっていることを確認してから、バッテリー⑥の取り付け・取り外しを行ってください。**

### 取り付け

バッテリー⑥のツメを、本体のバッテリー取り付け部の溝に合わせ、矢印の方向に差し込みます。
“カチッ”と音がするまで押し込んでください。




**⚠注意** ◆ **不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。**



### 取り外し

**⚠注意** ◆ **バッテリー⑥を取り外す際、けがをしないよう注意してください。**

「バッテリー取り外しボタン⑤」を押しながら、バッテリー⑥を本体から引き抜きます。

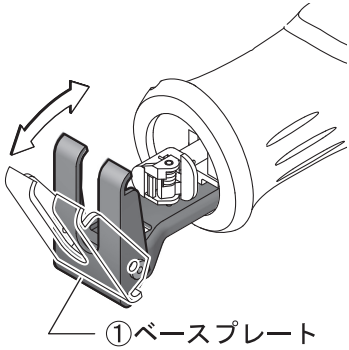


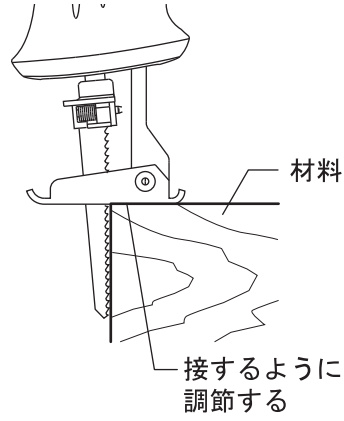
## ベースプレート①の角度を調節する

⚠ 警告 ◆ けがの発生を防ぐため、ベースプレート①の角度を調節するときは、バッテリー⑥をのこぎり本体から取り外してください。

本体をしっかりと保持し、ベースプレート①を傾けて角度を調節します。ベースプレート①は、ベースプレート①が切断材料の表面と接するように調節してください。

☞ ベースプレート①は、角度を固定できません。



## セーバーソーブレード⑨を点検する

- セーバーソーブレード⑨は短すぎないか？
- セーバーソーブレード⑨は曲がっていないか？
- セーバーソーブレード⑨の刃先が欠けていたり、摩耗したりしていないか？

## セーバーソーブレード⑨を取り付ける・取り外す

**⚠警告**

◆ けがの発生を防ぐため、セーバーソーブレード⑨を取り付けたり、取り外したりするときは、バッテリー⑥をのこぎり本体から取り外してください。

**⚠注意**

◆ 作業直後のセーバーソーブレード⑨は高温になります。冷たくなってから、セーバーソーブレード⑨を取り外してください。

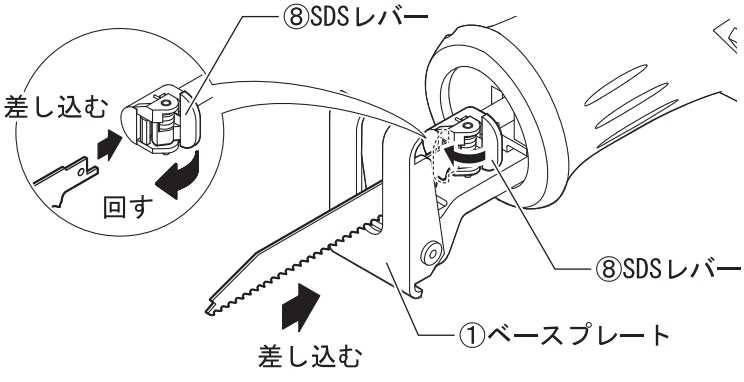
◆ セーバーソーブレード⑨は刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。



### 取り付け

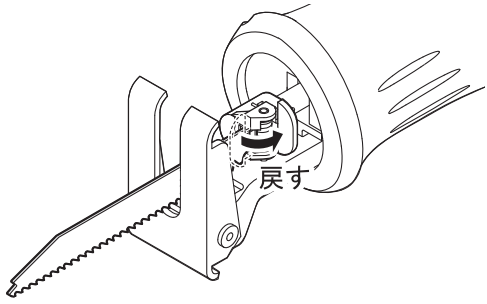
1. SDS レバー⑧をベースプレート側（矢印の方向）に回します。（2 項のイラスト参照）

2. SDS レバー⑧を保持したまま、セーバーソーブレード⑨を奥まで差し込みます。



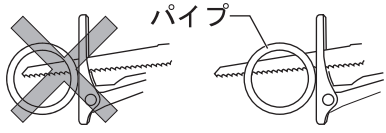
3. SDS レバー⑧を元の位置に戻し、セーバーソーブレード⑨を固定します。

4. セーバーソーブレード⑨を手で引っぱり、確実に取り付けられていることを確認します。




☞ セーバーソーブレード⑨は、刃を上下どちらの方向にしても取り付けられます。

☞ ベースプレート①や切断材料（特にパイプ）より刃が先に出ない短いセーバーソーブレード⑨や、曲がったセーバーソーブレード⑨は使用しないでください。短すぎたり、曲がったセーバーソーブレード⑨は、セーバーソーブレード⑨の先端がベースプレート①や切断材料に引っかかり、刃が折れることがあります。



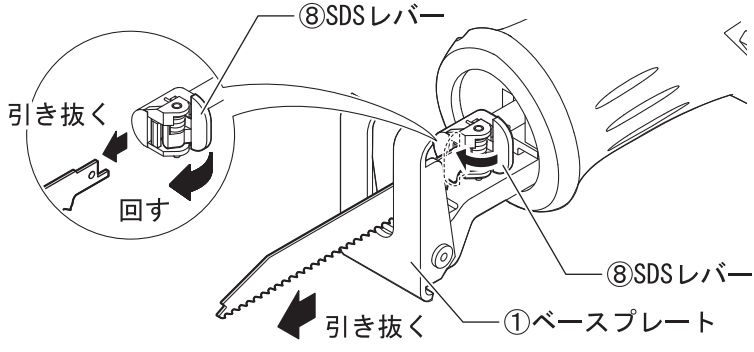

材料よりセーバーソーブレードが前方に出ている

使い方

## 取り外し

1. SDS レバー⑧をベースプレート側（矢印の方向）に回します。

2. SDS レバー⑧を保持したまま、セーバーソーブレード⑨を、引き抜きます。




3. SDS レバー⑧を元の位置に戻します。

## 作業する

**⚠警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリーを取り付ける前に、「安全ロックスイッチ④」が“安全ロックの位置（中央）”になっていることを確認してください。

### ① のこぎり本体にバッテリーを取り付ける

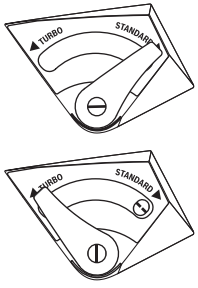
バッテリー⑥を、のこぎり本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”っと音がするまで押し込みます。

**⚠注意** ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

### ② 「ターボ切り替えスイッチ⑦」を切り替える

STANDARD：鉄板や金属などの、薄いか硬い材料を切断する場合や、切断面をきれいに仕上げたい場合にお勧めします。

TURBO　：非鉄金属、プラスチック、木材などの切断にお勧めします。




### ③ 「安全ロックスイッチ④」を左右どちらかに押し込む（ロック解除）

「安全ロックスイッチ④」は、左右どちらにも押し込むことができます。左右どちらかに押し込んで、「メインスイッチ③」のロックを解除しないと「メインスイッチ③」を引き込むことができません。

**安全ロック（中間）**

「安全ロックスイッチ④」を中間の位置にすると安全ロックが働き、不用意に「メインスイッチ③」が作動するのを防ぎます。
使用しないときは、必ずこの位置にしてください。

→ ロック ←

## ④「メインスイッチ③」を操作する

⚠警告 ◆ のこぎり本体を確実に保持してください。

### スイッチの ON／OFF

スイッチ ON ：「メインスイッチ③」を引き込みます。

スイッチ OFF：「メインスイッチ③」から指を離します。

### ストローク数（回転スピード）の調節

「メインスイッチ③」を引き込む加減で、ストローク数（回転スピード）が調節できます。
ストローク数を調節することにより、材料に、より適した切断が可能になります。

本機には、電子セル保護システム（ＥＣＰ機能）がついております。
本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。
上記の状態が解消されると、再始動することができます。
本体が停止している状態で「メインスイッチ③」を引き込み続けると、故障の原因になります。

## 5 切断する

**⚠警告** ◆ 使用中は、のこぎり本体を確実に保持してください。

**⚠注意** ◆ 作業時、のこぎり本体は軽く押すだけで十分です。
必要以上に強く押しつけると、セーバーソーブレード⑨を傷めて作業率がさがったり、本体が故障したりします。

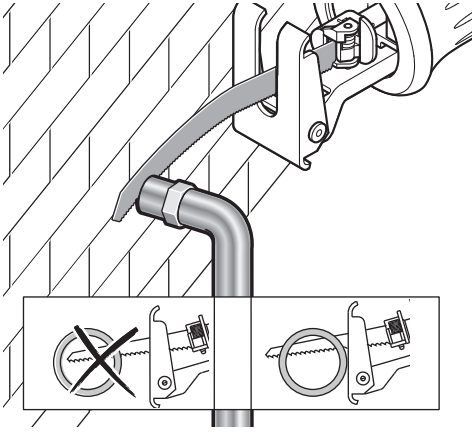
「メインスイッチ③」を“ON”にして、回転が十分に上がってから切断を始めてください。
切り始めは、セーバーソーブレード⑨をゆっくり材料に押しつけてください。

☞ 切断中は、ベースプレート①を材料にしっかり押しつけてください。
☞ 適切な切断スピードで作業してください。
☞ 金属を切断する場合、切削オイルスプレー（ボッシュ純正）を使用すると、スムーズで早い切断作業ができるとともに、セーバーソーブレード⑨の寿命が延びます。



### 面(つら)いち切断

柔軟性のあるセーバーソーブレード（バイメタル）を使用すると、切断面を面いちにする（壁面と材料の切断面をそろえる）ことができます。



☞ セーバーソーブレード⑨と壁面が平行になるように、横方向に力を加えてベースプレート①を壁面に押し付け、セーバーソーブレード⑨が曲った状態で切断します。

## 6 切断を終了する

「メインスイッチ③」から指を離します。

☞ セーバーソーブレード⑨の動きが完全に止まるまで、本体を床やテーブルなどに置かないでください。

☞ 「メインスイッチ③」を切ったあと、セーバーソーブレード⑨の動きを無理に止めるようなことはしないでください。
また、手で押さえるようなことは絶対にしないでください。

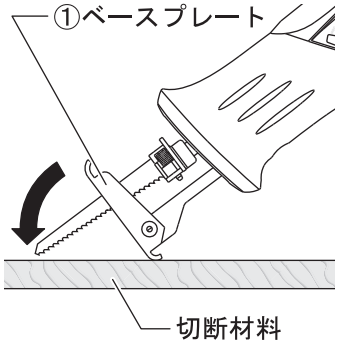
## ポケット切断をする

ポケット切断では、木材など軟らかい材料の中抜きができます。

**⚠警告**

- **◆ ポケット切断をするときは、「切断する」の警告・注意文および操作方法をよく読み、内容を理解してから作業を行ってください。**
- **◆ 電源コードを切断しないように注意してください。**

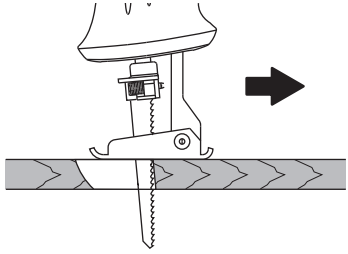
1. 切断材料に切断線を書きます。
2. 切断材料を確実に固定します。
3. セーバーソーブレード⑨を点検します。
4. 切断線の上にセーバーソーブレード⑨の先端がくるように、ベースプレート①の後端部を切断材料に当ててのこぎりを設置します。
5. 「メインスイッチ③」を引き込みます。
6. のこぎり本体を確実に保持し、ベースプレート①の後端部を支点に、のこぎりをゆっくりと押し込んでいきます。




☞ 支点（ベースプレート①の後端部）が、材料から離れないよう、しっかりと固定してください。

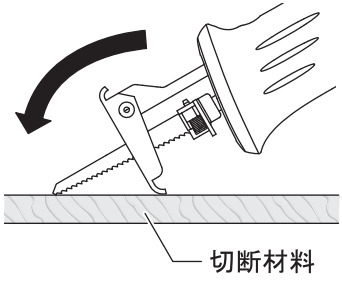
☞ 切断を急がず、ゆっくりセーバーソーブレード⑨を押し下げてください。

7. ベースプレート①の全面が切断材料に接したら、切断線に沿って切断を続けます。



8. 切断が終わったら「メインスイッチ③」から指を離し、本体を材料から離します。

☞ セーバーソーブレード⑨の歯を上向きに取り付け、のこぎり本体を逆向きに保持して作業すると簡単にポケット切断が行えます。




☞ ポケット切断には、山数の多いセーバーソーブレード⑨が適しています。

☞ 分厚い材料や金属のような硬い材料では、ポケット切断を行わないでください。
このような材料は、材料の端から切断するか、セーバーソーブレード⑨に合った大きさの貫通穴から切断を始めてください。

# 困ったときは

## 故障かな？と思ったら

① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

| 症　状 | 原　因 | 対　処 |
|---|---|---|
| 「メインスイッチ③」を引き込んでも、作動しない | バッテリー⑥が消耗している（電子セル保護システムが作動した） | バッテリー⑥を充電するか、交換する |
| | バッテリー⑥の温度が最適温度範囲外になっている | バッテリー⑥が最適温度範囲内になるまで待つか、交換する |
| | 本機の温度が作業可能温度範囲外になっている | 作業可能温度範囲内になるまで待つ |
| 「メインスイッチ③」が引き込めない | 「安全ロックスイッチ④」が“安全ロック”または、中途半端な位置になっている | 「安全ロックスイッチ④」を左右どちらかの位置にしっかりと切り替える |
| 切断に時間がかかる | セーバーソーブレード⑨が摩耗している | セーバーソーブレード⑨を研磨するか、交換する |
| | バッテリー⑥が消耗している | バッテリー⑥を充電するか、交換する |

## 修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
  弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

### コールセンターフリーダイヤル 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 6：00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

### ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107　埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171　FAX 048-536-7176

### ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104　福岡県糟屋郡新宮町的野 741-1

TEL 092-963-3486　FAX 092-963-3407

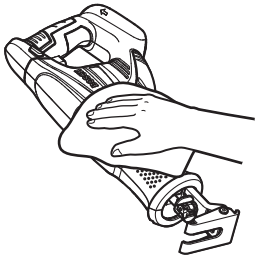
# お手入れと保管

**⚠警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑥をのこぎり本体から取り外し、お手入れしてください。

## クリーニング

- 通風口やセーバーソーブレード取り付け部などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- バッテリー取り外しボタン⑤やバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



## セーバーソーブレードのお手入れ

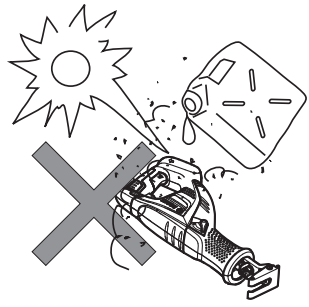
**⚠注意** ◆ セーバーソーブレード⑨は、刃先が身体に触れないように注意してください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。

● セーバーソーブレード⑨に付着した切り粉、ホコリを取り除く。

## 保　管

### のこぎりを使った後は、バッテリー⑥を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリーは50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。



# MEMO

# MEMO